

第 55 回環境工学研究フォーラム・一般公開シンポジウム

【下水道先端技術と環境工学と周辺分野の展開】

開催期日：2018年12月18日（火）15：30～17：30

会場：〒606-8501 京都市左京区吉田本町（京都大学吉田キャンパス）

京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホール I・II

(http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/)

京阪「出町柳駅」から徒歩約15分。

京都市バスなど「京大正門前」・「百万遍」から徒歩約5分。

参加申込：不要（参加無料）

下水道事業は、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全、浸水対策などを目的に整備が開始された。近年では、下水道資源・エネルギーの有効利用、低炭素・循環型社会の構築などの役割も求められるようになり、今後は、防災、都市活動、農林水産、エネルギー供給、医療健康など、他分野との連携促進が重要になると考えられる。このような中で、幅広い分野に関わる環境工学の果たす役割は大きい。

土木学会環境工学委員会「下水道資源を利活用するための技術と社会システムに関する調査検討小委員会」（2015～2017年度）では、下水道資源の利活用に資する技術に関する調査・検討を行い、水産業、農業、エネルギー分野など他分野との連携方策強化についての議論を深めた。そして、2018年度には「他分野の連携を促す下水道の先端技術に関する調査小委員会」を立ち上げ、更に幅広い分野との連携促進の議論を進めている。

本セッションでは、小委員会の活動内容を紹介するとともに、行政の最近の話題や今後の連携が期待される周辺分野の研究例について紹介いただく。そして、フロアとともにパネルディスカッションを行い、今後進めるべき環境工学研究や周辺分野との連携について議論を行う。

コーディネーター：京都大学 田中宏明

- 趣旨説明（田中宏明）
- 下水道行政の最近の話題（国土交通省下水道部 阿部千雅）
- 周辺分野の研究者からの招待講演
 - ・「進化計算アルゴリズムの多分野への応用」（東京都市大学 大谷紀子）
 - ・「被災と被災後の生活」（岐阜大学 小山真紀）
 - ・「市街地の拡大・縮小に関わる都市計画系マスタープランの動向から考える」（京都大学 神吉紀世子）
 - ・「下水道工学と疫学との関わり～歴史的背景から今後の展開まで～」(京都大学 上田佳代)
- 下水道資源を利活用するための技術と社会システムに関する調査検討小委員会（2015～2017年度）の提言内容紹介（京都大学 日高平）
- パネルディスカッション

問い合わせ先：京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻 日高平

TEL: 075-383-3350、FAX: 075-383-3351、Email: sympo@water.env.kyoto-u.ac.jp

第 55 回環境工学研究フォーラムの詳細については、(公社)土木学会環境工学委員会の web をご覧下さい。<http://committees.jsce.or.jp/eec/>